

令和6年度 施策評価シート

基本目標	I	「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
政策	130	水と緑を活かした、美しい景観をつくる
施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる
施策の目標	魅力的な水辺空間や緑豊かな公園が、区民や来街者にうるおいとやすらぎをもたらし、にぎわうとともに、まちの至るところに緑が増え、水と緑を親しむまちになっています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指 標 名	「墨田区の公園や水辺を日常的に利用している」区民の割合									
	基準年 (H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	43.8				50.0					60.0
実績	43.8				53.8					
指 標 名	みどり率									
	基準年 (H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	20.5				—					20.9
実績	20.5				20.8					

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移（千円）	
墨田区基本計画において定められている「隅田川沿川エリア」のうち、両国地区と吾妻橋地区を結ぶ地域について「水辺と市街地が分断され利活用しづらい」、「身近な公園の緑や魅力が足りない」などの課題がある。 これらの課題を踏まえ、同地域において、まちづくり方針を策定し、「魅力的な水辺空間の形成により、うるおいとやすらぎが感じられる」まちづくりを推進するとともに、大規模開発事業について緑地や広場等の整備により、地域の魅力向上に資する計画となるよう誘導する。 また、スーパー堤防整備事業について、整備主体の東京都と連携を図りながら整備を推進する。	R3	0
	R4	6,263
	R5	19,497

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	地域のまちづくり方針に基づく「まちの将来像」の実現に向け、隅田川沿川厩橋周辺地区地区計画及び本所一丁目特定街区を都市計画決定し、高度地区の都市計画変更を行った。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
○	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
「隅田川沿川厩橋周辺地区地区地区計画」に基づき大規模開発計画の誘導を行うと共に、地域の意見を反映させた周辺整備を推進していく。	
【今後の具体的な方針】	
大規模開発に際し実施する周辺整備について、地域の意見を反映させるため、ワークショップ等を開催する。また、スーパー堤防整備の推進に向け、区道整備に係る基本設計に着手する。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳 出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳 出 総 額 (千円)	目的に対する指標	直近の評価内容
					年度目標値	評価結果
					年度実績値	評価対象年度
1	隅田川沿川地区まちづくり 推進事業	19,497	12,768	32,265		現状維持
						令和5年度
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

施 策	策 132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				部内優先順位
事 業 名	隅田川沿川地区まちづくり推進事業					1
目 的	両国地区（広域総合拠点）及び吾妻橋地区（広域拠点）を結ぶ地区において、「まちづくり方針」を策定し、隅田川沿川における魅力あるまちづくりを推進する。					主管課・係（担当）
						都市計画課・景観・まちづくり担当 5608-6265
対 象 者	区民、事業者					
根 拠 法 令 関 連 計 画	墨田区都市計画マスタープラン					
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤5、委託先未定	
事 業 内 容	墨田区基本計画において「隅田川沿川エリア」に位置付けらる、隅田川沿いの地域は、隅田川の歴史・文化やみどりを育み、人々が集い交流する場づくりや、沿川の市街地と水辺の連続性、一体性の感じられる市街地環境づくりを進めるとしている。さらに、両国地区と吾妻橋を結ぶ地域のまちづくりを進め、賑わいの連続性の創出や親水性の向上を図るとしている。 また、隅田川沿川エリアの厩橋橋詰付近に位置する大企業の移転が公表され、周辺のまちづくりの気運が高まっている。 この状況を踏まえ、横網二丁目、石原一丁目、本所一丁目、東駒形一丁目の区域を「隅田川沿川地区（蔵前橋～駒形橋周辺）」とし、区民・事業者・行政が一体となって持続的に成長する魅力あるまちづくりを推進する。					
経 過	開始年度	令和4年度		終了予定	令和10年度	
	令和4年1月～10月 隅田川沿川地区まちづくり推進にむけた意見聴取、説明会等を実施 令和4年12月「隅田川沿川地区（蔵前橋～駒形橋周辺）まちづくり方針（案）」策定に係るパブリック・コメント及び説明会を実施 令和4年1月「隅田川沿川地区（蔵前橋～駒形橋周辺）まちづくり方針（案）」を都市計画審議会へ諮問 令和4年3月「隅田川沿川地区（蔵前橋～駒形橋周辺）まちづくり方針」を策定 令和5年7月～令和6年3月 厩橋周辺地区の地区計画及び特定街区を決定し、高度地区の変更にに向けた都市計画手続きの実施 令和6年1月「隅田川沿川厩橋周辺地区地区計画」及び「本所一丁目特定街区」の決定、「東京都市計画高度地区」の変更を都市計画審議会へ諮問 令和6年3月「隅田川沿川厩橋周辺地区地区計画」及び「本所一丁目特定街区」の都市計画決定、「東京都市計画高度地区」の都市計画変更					
議 会 質 問 の 状 況						
そ の 他 特 記 事 項						

予算・決算額推移(単位:千円)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額(事業費)					6,403	24,305	35,065
A.決算額(令和6年度は見込み)					6,263	19,497	35,065
財 源	国						
	都					15,400	30,000
	その他						
一般財源		0	0	0	6,263	4,097	5,065
執行率(%)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	97.8%	80.2%	100.0%
B.人コスト					12,268	12,768	
総事業決算額(A+B)		0	0	0	18,531	32,265	
予算書P(令和6年度)		P227-21		執行実績報告書P(令和5年度)		P168-21	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
旅費	管内旅費	26	旅費	管内・外旅費	97	旅費	管内・外旅費	146
需用費	まちづくり方針の印刷	297	需用費	一般需用費	0	需用費	一般需用費	192
委託料	まちづくり推進業務委託	5,940	役務費	郵送料	0	委託料	道路整備基本設計委託料等	34,700
			委託料	まちづくり推進業務委託	4,000	使用料及び賃借料	会場使用料	27
			委託料	道路整備概略設計委託	15,400			

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	住民説明会等の実施回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
				目標				
				実績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標			4	4	2	2
		実績			5	8		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	説明会を開催し、都市計画に関する手続きやまちづくりの進捗等を地域住民へ説明する回数を指標とした。令和4年度、令和5年度は、まちづくり方針、地区計画等の策定の経緯や結果を報告する回数を設置し、令和6年度以降はまちづくりワークショップ等を実施する回数を目標値とした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	墨田区住民意識調査における区の仕事の満足度(Fブロックにおける景観・まちなみの向上に関する評価)				単 位	
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
				目標				
				実績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標			0.42		0.46	
		実績			0.42			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	墨田区住民意識調査における、「隅田川沿川地区(蔵前橋～駒形橋周辺)が含まれるFブロックの景観・まちなみの向上に関する区の仕事の満足度を指標とし同地区において魅力あるまちづくりを進める。事業が終了する令和10年度に向け、地域住民への丁寧な説明・報告を実施し、段階的に満足度を高めていく。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	令和5年度は地域のまちづくり方針を基に、地区計画及び特定街区の決定、高度地区の変更をすることができた。 令和6年度以降は、地区計画に基づき大規模開発計画の誘導を行うと共に、地域の意見を反映させた周辺整備を推進していく。

課題・問題点
令和6年度以降は、大規模開発に際し実施する周辺整備について、地域の意見を反映させるため、ワークショップ等を開催する。ワークショップ等では、多くの地域住民に参加していただけるように周知を徹底すると共に、積極的に意見を出せるような企画の立案及び運営を行う必要がある。 また、スーパー堤防整備の推進については、大規模開発の竣工にあわせてスーパー堤防が整備されるように、東京都と連携を図っていく必要がある。